



第3回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 実施要項

- 主催 公益財団法人日本体操協会
- 主管 千葉県体操協会、千葉県トランポリン協会
- 後援 流山市、流山市教育委員会、千葉県教育委員会、千葉県体育協会
- 期日 平成29年7月27日(木)～30日(日)
- 会場 千葉県 流山市民総合体育館
- 競技日程
7月27日(木) 会場設営、団体割当練習、監督会議、開会式
7月28日(金) 審判会議、女子個人競技予選(団体競技を兼ねる)、
男子シンクロナイズド競技練習
7月29日(土) 男子個人競技予選(団体競技を兼ねる)、女子シンクロナイズド競技予選
7月30日(日) シンクロナイズド競技決勝、個人競技決勝、表彰式、閉会式
※上記日程は、参加人数確定後、変更する場合があります。
- 競技規則 公益財団法人日本体操協会制定「2017年版トランポリン採点規則」による。
※一部「全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会特別規則」による。(別紙参照)
- 使用器具 FIG認定器具 ユーロトランポリン(4mm×4mm テープベッド)
FIG認定同時性得点、跳躍時間点測定装置
- 競技方法
- ・個人競技の予選は、第1演技と第2自由演技を実施する。
※第1演技は、「全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会特別規則」による(別紙参照)
 - ・シンクロナイズド競技の予選は、第2自由演技のみとする。
 - ・個人競技、シンクロナイズド競技とも、予選第8位までの選手が決勝に進出し、
決勝は、0点スタートにて順位を決定する。
 - ・カテゴリーを以下の通りとする。(個人競技、シンクロナイズド競技共通)
10歳以下の部 男女 *小学1年生以上
11・12歳の部 男女
13～15歳の部 男女 *中学3年生迄
 - ・団体競技は、各カテゴリー男女別に1チーム4名(最低3名)で構成し、予選得点にて順位を決定する。
 - ・スポッターの配置について
①ダブルスポッター(トランポリン両サイドでスポッターマットを持つこと)を義務とする。
※選手の安全を守るという観点から、ダブルスポッター制を義務化いたしました。スポッターが用意できない所属団体については、あらかじめ他の所属団体の監督・コーチもしくは適切な方に依頼してください。それでもスポッターの用意が出来ない場合は、受付時に「ダブル

- スポッター要員要請申請書」に必要事項をご記入のうえ提出ください。
- ②協会が準備するスポッター（器具周辺に立つ者）は、トランポリン1台につき2名とする。
- ③スポッターマットを持つ者は、安全にマット入れができる者とする。
- ④対象はコーチ・選手・又はスポッター申請によるADを持っている者とする。
- *選手の安全を第一優先に考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

表 彰

- ・各競技とも第6位まで表彰する。
- ・1位～6位：メダル ※今年度より賞状を廃止します。
- ・以下の賞を個人競技決勝演技の中から選出する。
三宅馨杯 最優秀選手賞 1名
- ・以下の賞を個人競技第1演技の中から選出する。
第1演技最高得点賞 男女各1名
- ・以下の賞を個人競技予選第2自由演技、決勝演技の中から選出する。
最高演技点賞 男女各1名
最高難度点賞 男女各1名
最高跳躍点賞 男女各1名
※同点の場合は、それぞれの第1演技得点上位者とする。

参加資格

- ・公益財団法人日本体操協会に平成29年度選手登録を済ませた者。
- ・各カテゴリーとも、2017年12月31日時点での年齢区分に参加のこと。

参加料

- ・個人競技 1人 5,000円
- ・シンクロナイズド競技 1組 5,000円
- ・団体競技 1チーム 6,000円

申込方法

- ・JGA-Web (<https://jga-web.jp/>) より、各所属団体のマイページより申し込みを行ってください。
- ・申し込み完了後、「参加申込計算書」に必要事項を入力し、従来通り振込にて送金ください。計算された金額は、Web申し込みの際にも入力が必要です。

受付期間 : 平成29年6月1日(木)～6月23日(金)

振込受付期間 : 平成29年6月1日(木)～6月26日(月)

- ・最終日は取扱日ではなく、口座入金の日付が6月26日(月)までとなります。
- ・期限までに振込がない場合は、参加申込が無効となります。
- ・期限以降の変更による費用の返金はいりません。

・メールアドレス : juniortrampoline@yahoo.co.jp

※JGA-Webからの申し込み項目

個人競技、シンクロナイズド競技、団体競技のエントリー

監督・コーチ、スポッター、トレーナー、撮影許可証、帯同審判、広告協賛

※「広告協賛」のお申し込みは、JGA-Webの他、別紙申込書に必要事項をご記入いただき、上記までメールにてお送りください。

- ・振込者名は、頭に「J1」(ジェイいち)を入力し、個人名ではなく団体名を使用してください。
(振込金と振込者の照合が出来ない場合は無効になりますのでご注意ください。)
- ・振込時に上記アルファベットが使えない場合、カタカナ・ひらがなでも結構ですが、文字数を超え、表示されない場合があります。その際は、団体名が認識可能な範囲で省略しても結構です。

帯同審判員

本大会出場選手の所属団体は、以下の内容に従って公認審判員2種以上の資格を有する審判員の帯同をお願いします。

- ・1~10名の参加選手がいる団体 帯同審判員1名
- ・11名以上の参加選手がいる団体 帯同審判員2名

上記条件の帯同ができない場合は、主催側で審判員を依頼しますので、選手1名につき2,000円のご負担をお願いします。

- ・帯同審判員は、競技日程の全てにおいて従事できる方に限ります。
- ・帯同審判員は、他の団体と重複できませんので、ご注意ください。
- ・帯同頂いた審判の人数に応じて、以下の通り負担金を還付いたします。
(帯同審判1名を参加選手10名分として計算します。)

(例1)

参加選手が11名で帯同審判2名の場合

参加選手20名分－参加選手11名＝9名 9名分×2,000円＝還付金18,000円

(例2)

参加選手が1名で帯同審判1名の場合

参加選手10名分－参加選手1名＝9名 9名分×2,000円＝還付金18,000円

(例3)

参加選手が11名で帯同審判3名の場合

参加選手30名分－参加選手11名＝19名 19名分×2,000円＝還付金38,000円

- ・審判の必要数を超えた場合、申し込みいただいた帯同審判の数を調整させて頂く場合がございますので、予めご了承ください。
- ・負担金の還付は、大会終了後にお申込み頂いた口座へ各団体分を纏めて日本体操協会より振込をさせていただきます。

AD 申請

- ・参加申込みと同様に、「JGA-Web」からの申し込みとなります。
- ・発行された AD カードは、会場内では必ず見える位置に着用してください。
- ・複数の所属団体に重複して監督やコーチをされる方は、いずれかの所属団体でのみ申請を行って下さい。

役 職	枚 数	備 考
監督・コーチ	1	男女選手がいる場合はコーチ資格を有する2名に対して発行します。演技グループ毎に競技エリア内に入ることができます
選 手	選手数	出場選手数を発行します
スポッター	2	男女選手がいる場合は最高 4 枚発行します。選手の演技グループ毎に競技エリア内に入ることができます
トレーナー	1	男女選手がいる場合は 2 枚発行します。競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます

撮影許可

ビデオ撮影につきましては、各団体に最大3名の撮影許可証をお渡しいたします。

(カメラによるスチール撮影は禁止です)

また、決勝の選手紹介並びに表彰式は、カメラでのスチール撮影を許可しますが、上記撮影許可証が見える場所に身に付けてください。

※大会当日の撮影許可は、一切行いませんのでご注意ください。

お弁当／宿泊

別紙の申込書によりそれぞれお申し込みください。

大会保険および 大会期間中の怪 我について

- ・協会の費用負担にて、参加選手に対して練習日午前9時以降、競技終了までスポーツ傷害保険をかけます。
- ・発生した傷害の補償につきましては、加入したスポーツ傷害保険の範囲内とします。
- ・競技中の疾病、負傷に対する応急処置は、主催側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ・大会参加者は、健康保険証を持参してください。

演技写真撮影に ついて

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます

その他注意事項

- ・公式日程、練習割り当て、競技カードは、本協会ホームページより確認及びダウンロードをお願いします。
- ・競技カードは、受付の際にご提出ください。
- ・お問合せにつきましては、メールのみ受け付けます。
- ・お返事までに数日頂く場合がございますので、予めご了承ください。
- ・携帯のメールアドレスからのお問合せの場合、以下のアドレスが受信できるよう設定をお願いします。

・お問合せ用メールアドレス : juniortrampoline@yahoo.co.jp

全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会＜特別規則＞

1. 競技方法

全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会は、個人競技、シンクロナイズド競技、団体競技の3つのカテゴリーにて実施する。各カテゴリーを以下の年齢区分に分ける。

10歳以下の部 男女別 (小学生以上)

11・12歳の部 男女別

13～15歳の部 男女別 (中学生まで)

※各年齢区分は、2017年12月31日時点での年齢とする。

(1) 個人競技

予選では、第1演技および第2自由演技を各1回実施し、その合計得点によって、上位8名の決勝進出者を決定する。決勝の試技順は、予選得点の低い選手から順番に自由演技を行い、決勝演技のみの得点をもって最終順位を決定する。

※第1演技の特別要求

★10歳以下の部 個人競技 男女

- ・第1演技の難度点は算入されない。
 - ・第1演技の要求種目は第2自由演技で実施しても難度点は算入される。
 - ・第1演技は異なる10種目で構成されなければならない。
 - ・以下①～③に示す要求種目には、競技カードに※印をつけなければならない。
- ① 360度回転以上の宙返り種目において、以下の3つの姿勢を実施しなければならない。
(タック、パイク、ストレート)
- 更に上の3つの360度回転以上の宙返り種目は、前方系・後方系各1種目以上を含まなければならない。
(例：後方系のみで3つの姿勢を構成することはできない)
- ② 「ハーフピルエットジャンプ」または、「フルピルエットジャンプ」を実施しなければならない。
- ③ 「腹落ち」または、「背落ち」で着床する種目を実施しなければならない。
- ・要求種目は、1つの種目で2つ以上の要求種目を兼ねることができる。
 - ・第1演技において、競技カード通りに演技していて中断した場合、有効種目数の得点とする。
 - ・演技中断の場合、~~そこまでの演技点数と跳躍点数の合計を得点とする。~~

★11～12歳の部、13～15歳の部 個人競技 男女

- ・第1演技の難度点は算入されない。
 - ・第1演技の要求種目は第2自由演技で実施しても難度は算入される。
 - ・第1演技は異なる10種目で構成されなければならない。
 - ・以下①～④に示す要求種目には、競技カードに※印をつけなければならない。
- ① 360度回転以上の宙返り種目において、以下の3つの姿勢を実施しなければならない。
(タック、パイク、ストレート)
- 更に上の3つの360度回転以上の宙返り種目は、前方系・後方系各1種目以上を含めなければならない。
(例：後方系のみで3つの姿勢を構成することはできない)
- ② 「ハーフピルエットジャンプ」と、「フルピルエットジャンプ」を実施しなければならない。
- ③ 腹落ちで着床する種目を実施しなければならない。
- ④ 背落ちで着床する種目を実施しなければならない。
- ・要求種目は、1つの種目で2つ以上の要求種目を兼ねることができる。

- ・第1演技において、競技カード通りに演技していて中断した場合、有効種目数の得点とする。
- ・~~演技中断の場合、そこまでの演技点数と跳躍点数の合計を得点とする。~~

(2) シンクロナイズド競技

- 年齢区分の異なる相手とペアを組む場合は、そのペアにおいて上位選手の категорияに出場する。
- ・シンクロナイズド競技のみのエントリーは不可とする。

2. 採点方法（第2自由演技および決勝演技について）

(1) 下限難度と演技構成

個人競技、シンクロナイズド競技とも、下限難度を2.0とする。

すべてのカテゴリーにおいて、演技構成の中には3/4回転以上の宙返りを1本以上入れなければならない。

また、下限難度に満たない場合もしくは3/4回転以上の宙返りを1本以上入れていない場合は、演技点のみの得点となる。「膝落ち」「四つんばい落ち」は、演技として認められず、行った時点で中断とする。

(2) 上限難度

上限難度の制限は設けない。

(3) 難度のないフィートバウンス

難度のないフィートバウンスは、演技構成の中に何本入れても減点を行わない。

(4) 同点について

同点の場合は、公益財団法人日本体操協会制定「2017年トランポリン採点規則」に基づいて順位を決定する。

3. その他

(1) 服装

① 男子

袖なしレオタードもしくは、肩のでの袖なしアンダーシャツ。黒もしくは濃い色を除く単色の体操ズボンとする。

※短パンは対象外とする。

② 女子

袖ありまたは袖なしのレオタードもしくはユニタードとする。ロングタイツの着用を認める。

これらはすべて肌に密着するものとする。

③ シンクロナイズド競技・団体競技

各ペア・団体へエントリーした選手は、同じ服装で競技しなければならない。

※男子の体操ズボンは、アイボリーとホワイトは同色として認めない。

※生地は、素材が異なれば同じものとして認めない。

※生地の切り返し(模様)が異なる場合は、プリントされた生地を裁断して作られたものについてのみ認められる。

※色落ちしたものについては、できるだけ使用しない。

以上、主審から服装が異なっていると判断された場合は、失格となる可能性がある。

④ 事前の服装チェックは行いません。

その他は、公益財団法人日本体操協会制定「2017年トランポリン採点規則」に準じて行います。

※指針

「本大会に出場する際、各所属において、概ね第1演技で演技点15.0を越える選手の参加をお願いしたい。」

全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 第1演技について

■ 要求種目

区分	要求数	360度○	360度<	360度/	1/2P	1/1P	Back	Front
10才以下	5	○	○	○	いずれか○		いずれか○	
11・12	7	○	○	○	○	○	○	○
13～15								

* 3つの360度以上の宙返り種目は、前方系1種目以上、後方系1種目以上を含まなければならない。

例：後方系のみで3つ姿勢を構成することはきかない

* 10種目すべて異なった種目であること。

■ 競技カード記載注意点

・本来は、「反メリック」表記ですが、ジュニア選手権第1演技の競技カードは、英語」または「カタカナ」表記とする。

ただし、姿勢は、ヌーメリック表記とする。

・個人第2自由演技、シンクロは、「反メリック」英語」カタカナ」いずれも可とする。

・ひとつの種目で2つの要求を兼ねている場合は、アスタリスク(*)を二つ付けること。

・競技カードと演技内容が異なった場合、中断となる。

例：パイクと記載してあって、膝が緩んで、タックと判断された時点で中断となる。

・競技カード通りに演技して中断した場合、有効種目数の得点とする。

・姿勢は、3つです。 Tuck・・・○ Pike・・・< Straight・・・/

・270度回転以上の種目は、姿勢を記すこと。

3/4Front ss (リクォーターフロント) ○・<・/

3/4Back ss (リクォーターバック) ○・<・/

Back over (バックオーバー) ○・<・/

バックオーバーは、膝曲がり、腰折れで、申請とは違う種目に判断される場合があるので要注意。

ベッド着床時の姿勢(膝曲り等)は、○・<・/の姿勢として、とらえることはない。

・270度回転未満の種目は、姿勢を問わない。

・Stand(立つ)の考え方

シート～立つ フロント～立つ バック～立つ これらは、違う種目

シート～立つ ハーフシート～立つ フルシート～立つ これらは、同じ種目

フロント～立つ ハーフフロント～立つ これらは、同じ種目

バック～立つ ハーフバック～立つ これらは、同じ種目

10才以下 第1演技 構成例並びに競技カード記載例

英語表記

要求*		種目	姿勢
*	1	1Back ss	/
*	2	1Back ss	○
*	3	Barani	<
	4	Straddle jump	
*	5	1/2Pirouette	
	6	Seat drop	
	7	Stand	
	8	Tuck jump	
*	9	1/2 to front drop	
	10	Stand	

カタカナ表記

要求*		種目	姿勢
*	1	ストレイトバック	/
*	2	タックバック	○
*	3	バラニー	<
	4	ストラドルジャンプ	
*	5	ハーフピルエット	
	6	シート	
	7	スタンド	
	8	タックジャンプ	
*	9	ハーフフロント	
	10	スタンド	

→

要求*		種目	姿勢
*	1	1Back ss	/
	2	Straddle jump	
*	3	1/2Pirouette	
	4	Seat drop	
	5	Swivel hips	
	6	Stand	
	7	Tuck jump	
**	8	1-1/4Back ss	○
	9	Back over	/
*	10	1Front ss	<

要求*		種目	姿勢
*	1	ストレイトバック	/
	2	ストラドルジャンプ	
*	3	ハーフピルエット	
	4	シート	
	5	スウィーブル	
	6	スタンド	
	7	タックジャンプ	
**	8	ワンエンドクォーターバック	○
	9	バックオーバー	/
*	10	パイクフロント	<

→

要求*		種目	姿勢
*	1	3/4Front ss	/
*	2	Barani balbut	○
	3	Straddle jump	
	4	Seat drop	
	5	Swivel hips	
	6	Stand	
*	7	1/2Pirouette	
	8	Tuck jump	
*	9	1Back ss	<
*	10	Barani	/

要求*		種目	姿勢
*	1	スリークォーターフロント	/
*	2	バラニーボールアウト	○
	3	ストラドルジャンプ	
	4	シート	
	5	スウィーブル	
	6	スタンド	
*	7	ハーフピルエット	
	8	タックジャンプ	
*	9	パイクバック	<
*	10	バラニー	/

→

11・12才 13～15才 第1演技 構成例並びに競技カード記載例

英語表記

要求*		種目	姿勢
*	1	3/4Back ss	/
*	2	Cody	<
	3	Straddle jum p	
*	4	1/2P irouette	
*	5	1/1P irouette	
	6	Tuck jum p	
*	7	1Back ss	/
	8	1Back ss	○
*	9	3/4Front s s	/
*	10	Barani balbut	○

カタカナ表記

要求*		種目	姿勢
*	1	スリークォーターバック	/
*	2	コーディー	<
	3	ストラドルジャンプ	
*	4	ハーフピルエット	
*	5	フルピルエット	
	6	タックジャンプ	
*	7	ストレイトバック	/
	8	タックバック	○
*	9	スリークォーターフロント	/
*	10	バラニーホールアウト	○

→

要求*		種目	姿勢
*	1	1Back ss	/
*	2	1Back ss	○
*	3	Barani	<
	4	Straddle jum p	
*	5	1/2P irouette	
*	6	1/1P irouette	
	7	Seat drop	
*	8	Front drop	
*	9	Back drop	
	10	Back over	○

要求*		種目	姿勢
*	1	ストレイトバック	/
*	2	タックバック	○
*	3	バラニー	<
	4	ストラドルジャンプ	
*	5	ハーフピルエット	
*	6	フルピルエット	
	7	シート	
*	8	フロント	
*	9	バック	
	10	バックオーバー	○

→

要求*		種目	姿勢
*	1	1Back ss	/
*	2	1/2P irouette	
*	3	1/1P irouette	
	4	Tuck jum p	
**	5	1・1/4Back ss	○
	6	Back over	/
*	7	Barani	<
	8	Straddle jum p	
*	9	1/2 to front drop	
	10	Stand	

要求*		種目	姿勢
*	1	ストレイトバック	/
*	2	ハーフピルエット	
*	3	フルピルエット	
	4	タックジャンプ	
**	5	ワンエンドクォーターバック	○
	6	バックオーバー	/
*	7	バラニー	<
	8	ストラドルジャンプ	
*	9	ハーフフロント	
	10	スタンド	

→